

バスで行く 第18回 埼玉産直センター収穫祭

11月12日 第2地域委員会

3年ぶりの埼玉産直センター収穫祭の開催にあたり、とても良い収穫祭日和の朝、渋谷、新宿の2カ所からバスで出発。

行きの中では「産地訪問のしおり」を配布し、学習交流も! 「好きな野菜料理は?」というお題には、「ゴーヤとバナナと牛乳で作るスムージー」「長ねぎをバターで炒めてとろけるチーズを入れたオムレツ」「レンコンのきんぴら」「大根ステーキ」など個性満載のメニューが続々…大いに盛り上がる中、現地に到着しました。

畑へ案内された参加者は、大根・にんじん・白菜・長ねぎ・キャベツなどの作物から自分で選べたので、産地の方にコツを教わりながらたくさん収穫して、大満足でした。会場では他にも野菜の販売があり、みんな両手にあふれるほど野菜を購入して帰路に就きました。



収穫し持ち帰ったかぶは、皮をむいてくし切りし、オリーブオイルで焼いて岩塩で食べました。とてもジューシーでおいしく、家族にも大好評でした!

参加者の感想から

感染症対策が取られたため収穫体験と野菜販売のみになり、生産者との密な交流ができなかったのはちょっと残念。次回に期待しています。

※第9地域委員会からも収穫祭に参加しました。

心を元気にする! 「色彩ぬり絵セラピー」

11月29日 南中野ブロック委員会

東都人材バンクの青山恵理子さんに、ぬり絵から今の気持ちを引き出すことを教えていただく講座。1枚目は「オーラぬり絵」、オーラの色は自分を取り巻く環境や関係を表します。人物(自分)から塗るかオーラ(周囲)から塗るかで、気持ちや性格(内面)も分かってしまうそう。確かに、同じ絵も塗る色で全く違う印象に! 2枚目は花束、鳥、月など絵それぞれに意味があるぬり絵から、今塗りたい絵を選んで彩色。あつという間に塗る人、細かく塗りつぶす人、色を重ねてオリジナリティを出す人…塗り方もタッチもさまざまです。最後に2枚を見比べて、青山さんが解説。参加者からは「色を塗るだけでいろいろ分かった!」「内面を当てられた感じで楽しかった」などの感想が。明日、皆さんが塗る色は何色になるでしょうか。



インフォメーション



理事会報告
(抜粋)

- 2022年度第7回定例理事会(2022年11月17日開催)
- 審議事項 ● 2023年度理事会等日程(案)と第50回通常総代会日程(案)確認の件
- 第19回東都生協平和のつどいの開催および実行委員会設置の件
- 第49回通常総代会議案(定款の一部改正の件)
- WFO限定ポイント制度規程(一部改正の件)
- 供給専門職員就業規則制定の件
- 【報告事項】 ● 2022年10月度決算報告
- 各部署業務報告
- 組合員活動委員会報告
- 商品活動関連報告
- さようざれん第46回国会請願署名およびリサイクルル洗びンセンター支援募金の件
- 2022年度上半期の内部統制進捗報告に関する件
- 子会社に関する報告の件

11月のわたしたち

2022年11月20日現在 ※[]内は前年比

★組合員数	257,274人	[99.7%]
加入	5,184人	[95.6%]
脱退	5,090人	[81.3%]
★総事業高	23,022,752千円	[94.4%]
共同購入事業	22,079,694千円	
弁当配食事業	253,289千円	
生活文化事業	138,794千円	
生活支援事業	46,735千円	
その他事業	504,240千円	
★出資金	6,744,742千円	[101.1%]
★1人あたりの出資金	26,216円	[101.4%]
★1人あたりの利用高	6,082円	[99.5%]

今後の理事会日程(予定) 2月16日(木)、3月16日(木)

4月1日から商品案内Sanbonsugiの遺伝子組換え表示が変わります

2023年4月1日に改正・施行される食品表示法における食品表示基準の「遺伝子組換え表示制度」について、「遺伝子組換えでない」などと任意表示するための要件が、厳格化されます。大豆とうもろこしの2品目は、これまで「意図せぬ混入率5%以下」が許容されていましたが、改正後は「不検出」であることが、任意表示をする際に必要となりました。

これにより大豆・とうもろこしを原材料とした豆腐、納豆、豆乳、みそ、しょうゆ、コーンスターチ、その他関連商品の表示に、大きな影響が生じると考えられます。

任意表示基準の厳格化により、多くの食品製造事業者が予期せぬ混入リスク回避のために、これまでの包材の任意表示をやめたり、証明書(分別生産流通管理証明)を提出できなくなるなどの問題も想定されます。今まで東都生協の商品案内で表示していた「組換え不使用」のマークを付与できない商品が増えるなど、現行のマークでは対応しきれない商品の増加も予想されるため、改めて表示に対する考え方を整理し新たなマークを策定することになりました。

新たな表示マーク設定に当たっては、組合員が商品を選択する際に認知しやすく、理解しやすいもの(区分方法・表示方法・マークの数)などを重視し、事前に組合員(商品モニター)アンケートも行いました。



「新たな遺伝子組換え表示マーク」は以下の4つ

No	新たな遺伝子組換え表示マーク	原料調査の対象となる商品	原料管理状況
1	組換え分別管理 新設	食品表示法で定めた8作物33加工食品群の表示対象品目および日本生協連任意品目が主原料(原材料の中で水を除く重量割合が上位3位かつ5%以上)の商品。	使用している全ての原料(添加物含む)が、遺伝子組換えの混入を防ぐため「分別生産流通管理」されていることが確認された場合。 ▶全ての原料が分別生産流通管理されている
2	主組換え分別管理 新設	食品表示法で定めた8作物33加工食品群の表示対象品目および日本生協連任意品目が主原料(原材料の中で水を除く重量割合が上位3位かつ5%以上)の商品。	微量原料※以外は遺伝子組換えの混入を防ぐため「分別生産流通管理」されていることが確認された場合。 ▶主原料は分別生産流通管理されている
3	主組換え不分別 継続	食品表示法で定める義務表示品目および日本生協連任意表示品目を主原料(原材料の中で水を除く重量割合が上位3位かつ5%以上であれば主原料と見なす)に使用している商品。	上記の主原料について、遺伝子組換え原料と非遺伝子組換え原料とが分別管理されていない場合。 ▶遺伝子組換え不分別の主原料を使用
4	組換え表示対象外 新設	食品表示法で定める義務表示品目および日本生協連任意表示品目を全ての原料に使用していない商品。	使用している全ての原料(添加物含む)が、食品表示法で定めた表示対象品目と日本生協連任意品目を使用していないことが確認された場合。 ▶遺伝子組換え対象品目を由来とする原料を使用していない

日本生協連ガイドラインの任意表示品目:「しょうゆ(脱脂大豆・丸大豆)」「大豆油、なたね油、綿実油、コーン油(食用植物油の表示で上記原料が含まれる場合も含む)」「コーンフレーク」。ただし調味や油調目的で使用した場合は、表示対象外。
食品表示法で定める義務表示品目:東都生協ホームページをご確認ください。



東都生協では、今後も法的に表示義務がない原料についても商品案内『Sanbonsugi(さんぼんすぎ)』で表示し、組合員の皆さんにできるだけ多くの情報を提供し、選択の目安にいただけるよう努めます。これからも、できる限り遺伝子組換え食品を使用しない商品をお届けするために産直産地・メーカーとも協力・連携しながら日本の農業を応援し、国産原料や国内製造にこだわった取り組みを進めていきます。

住所不明組合員のみなし自由脱退手続きに関する公示

定款第10条第2項に基づき、住所の変更届を2年間行わなかった組合員は脱退の予告があったものとし、「みなし自由脱退対象者」とさせていただきます。

(今回のみなし自由脱退の条件) 2020年1月に投函した東都生協からの郵便物が宛先不明で返送された方で、東都生協事業の利用実績のない組合員。今回の対象者となっている方は、2023年3月20日をもって「みなし自由脱退」として脱退手続きをさせていただきます。お心当たりの方は、至急東都生協までご連絡ください。なお、みなし自由脱退手続き後にお申し出があった場合は、出資金を返還させていただきます。 2022年12月20日 東都生活協同組合 理事長 風間 与司治

お問い合わせ システム部 システム運用グループ 電話 03-3329-4927 午前9時~午後5時(火曜~土曜・祝日も可)

第1回総代会議

~方針の定期点検と「組合員の新たな活動スタイル案」の議論~



組合員活動の参加をより豊かに広げていくために、目指す姿を「興味関心のあることとゆるやかにつながり、地域と組合員のくらしに寄り添う活動」としていただいたご意見を踏まえて検討を重ね、課題解決のための新しいスタイルとして提案しました。現在の活動形態の一本化と1人から活動できる新しいスタイルへの変更です。そのためブロック委員会規約の廃止や活動費などについての説明と意見交換を行いました。「活動イメージがわからない」「実際にやってみて、修正していけばよいのでは」「なぜブロック委員会をやめないといけないの?」ものづくりが得意。そういう人ができることがあるのかなど、総代の立場や活動経験によって、さまざまな質問・意見が出ました。総代の皆さんからいただいた意見を反映し、今後の総代会議へ提案していきます。「第1次議案書」(2月6日~10日配布)で皆さんからの声も集めています。



11月25日シアター1010での総代会議の様子

第48回総代会で決議された方針に基づく活動事業の中間報告と、次年度の方針づくりに向けての議論を行う総代会議が、11月25日から5日間の日程で、集会型、オンラインと合計10回、開催されました。今年度は、組合員の活動スタイルについての見直し議論を進めることが総代会で確認されたことを受け、この間ブロック委員会などの活動団体や総代(昨年度~今年度)へ説明会を開催し、意見交換会を行ってき